亀山通信 第７２号

2025 年 3 月発行

発行者 浜田高校通信制課程 住所 浜田市黒川町 3749
TEL 0855-22-0187 FAX 0855-22-2549

令和７年３月１日（土）、島根県立浜田高等学校第 76 回卒業証書授与式が行われました。令和６年度は通信制から、前期１名、後期 36 名、計 37 名の卒業生が巣立って行きました。

全日制の合唱隊や吹奏楽部が演奏するお祝いの歌や校歌を聴きながら、温かく、厳粛な式典が執り行われました。２C 田中さんが通信制代表として答辞を読まれ、もう少しで手が届きそうな夢に多くの人が目頭を熱くしたのではないかと思います。本当にすばらしい式典でした。あらためて 37 名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！ 自学自習が基本の通信制で学習することは決して易しいことではなかったと思います。また、学業と仕事を両立させて頑張った人もたくさんいます。みなさんの頑張りを見てきた私たち教職員も、この日を迎えることができたことをとてもうれしく思います。通信制で過ごした日々を糧にこれからの人生を切り拓いていってください。

スクーリング日連絡先
【本Ｓ・火Ｓ】浜田高校定時制通信制校舎
（０８５５）２２―０１８７
【協Ｓ・巡Ｓ】
大田（携帯）：０８０－２８９６－２４５７
益田（携帯）：０８０－２８９６－２４５８
※ 協力校の電話は、協力校スクーリング当日
８：３０～１５：００ までの間つながります。
それ以外は、浜田高校定時制・通信制校舎へ電話してください。
※ Ｓはスクーリングのことです。

第 72 号の主な内容

◎卒業式校長式辞・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１～２
◎卒業生代表答辞・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３～４
◎副校長より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
◎卒業生授賞式・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ６
◎同窓会入会式・ジオラマ講座・・・・・・・Ｐ７
◎生徒総会・新生徒会役員紹介・・・・・Ｐ８
◎進路部だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９～10
◎保健だより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
◎お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P12

式　辞

校歌に歌われる春の三階山が少しずつ色づき始め、日に日に緑ほほ笑む季節が近づいていることを感じます。

本日は、浜田市長　久保田章市　様、全日制ＰＴＡ会長　大谷　海　様、定時制・通信制ＰＴＡ会長　宮崎　博　様をはじめとするご来賓の皆様、ならびに多くの保護者の皆様のご臨席を得て、第７６回卒業証書授与式を執り行うことができますことを、厚くお礼申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、お子様がりりしく立派に成長され、高等学校を卒業される姿を、頼もしくご覧になっていることと存じます。お子様のご卒業を、心よりお祝い申し上げます。

さて、ただ今卒業証書を授与いたしました２１７名の皆さん、卒業おめでとうございます。浜田高校で過ごした年月は、各課程あるいは個人によって様々ですが、一人一人にとってかけがえのない、思い出深いものであったことと思います。

全日制課程を卒業される１６９名の皆さんは、「高い理想と誠実な努力」という教育目標のもと、勉強と部活動の両立、進路目標の実現に向かって、真摯に努力を続けてこられました。浜高での様々な学びを通じて自己を磨き、創意工夫して成果を上げられた経験は、今後の人生に必ずや生きてくることと確信しています。

昨秋、全日制第５０期の卒業生であるプロ野球選手和田毅さんが、２２年間の現役生活に終止符を打たれました。浜田高校時代は、１９９７年、９８年に２年連続で甲子園に出場され、９８年にはベスト８の偉業を達成されました。進学した早稲田大学では、東京六大学野球の奪三振記録を更新、プロ野球では日米通算１６５勝、リーグ最多勝２回、オリンピックとＷＢＣの日本代表３回と、打ち立てた記録と経歴は輝かしいばかりです。その経歴から、恵まれた天賦の才を想像しがちですが、和田選手は「自分は凡人」「人より優れていないところが自分の優れているところ」というスタンスを貫きながら、自己研鑽に努めてこられたそうです。

浜高の偉大な先輩の生き方に学ぶところは大きいと思います。皆さんの人生は、これからが本番です。和田選手のように、驕らず謙虚に自己を見つめて研鑽に励み、一歩一歩進化を続けていくことが、自分の人生をより豊かなものにしてくれることでしょう。皆さんが、これからもたゆまぬ努力と成長を続けられ、ますますご活躍されることをお祈りいたします。

定時制課程を卒業される１１名の皆さんは、仕事を通じて様々な経験を積んだり、社会の厳しさに直面したりしながら、向学心を持ち続け、頑張ってこられました。

通信制課程を卒業される前期１名、後期３６名の皆さんは、自らの力で学ぶという通信制の学びを理解し、本校や大田、益田のスクーリング、レポート提出など、ハードルを一つ一つ乗り越えながらよく精進され、卒業に必要な単位を修得されました。

昨年末、NHK で定時制をテーマにしたドラマ『宙わたる教室』が放映され、定時制の生徒と先生との交流の姿が描かれました。主題歌は、リトル・グリー・モンスターの「ブレイク・アウト・オブ・ユア・バブル」。「自分の殻を破っていく」という意味で、これまでの過去の自分、あるがままの自分を認めながら、未来に向かって歩き出す若者を応援する歌に、私は君たちの姿を重ね、とても共感しました。

ここにいる定時制・通信制の皆さんは、仕事と学業の両立という容易ではない努力を続けながら、時には自分の体調と相談しながら、様々な困難を乗り越えて本日を迎えられています。長い年月をかけて、卒業を迎えられた方もいます。どうか、ここまで頑張ってきた自分を褒めてください。そして、「ブレイク・アウト・オブ・ユア・バブル」「自分の殻を破っていく」という気持ちで、これからの人生を、力強く歩んでいかれることを願っています。

さあ、いよいよ旅立ちです。
高校生活の思い出を胸に、青春の日々への限りない愛着とともに、ここ浜田の地から、大空高く飛翔していく卒業生の皆さんの、洋々たる前途に幸多かれと祈念いたしまして、式辞といたします。

令和７年３月１日

島根県立浜田高等学校長　志波英樹

答　辞

柔らかな春の日差し、頬を伝う心地よい風、草木は芽吹き、生き物たちが躍動する美しい季節となりました。

私が浜田高校通信制に入学したのは、今から四年半前です。入学前の私は、心身共に打ちひしがれ、何も考えることができないほど疲れ果てていました。

もともと大阪の出身で、大阪にある全日制の高校に進学し、晴れて高校生となったのは六年前でした。中学時代に原因不明の病気にかかり、全身の倦怠感や杖なしでは歩けない状態を余儀なくされていながら、普通の高校生活が送れると信じていました。しかし「一度手を付けたら自分の体は二の次に、少々の無理をしてでも日々頑張る」をモットーに過ごす高校生活は、私の身体を限界へと追い込んでしまいました。周りの同級生が大学進学を目指し進んでいく中、私は学校に通えなくなり、もう皆には追いつけない、人生のレールを踏み外してしまったと不安と焦燥に駆られました。日を追うごとに辛さが増す中、環境を変えることで何かが変わるかもしれないと島根を訪れました。そこで知ったのが浜田高校通信制でした。

自分の身体を第一に考え、ゆっくりと学習を進められる通信制の仕組み、それが自分に合っていると思い、転学を決めました。最初のうちは、それでも無意識のうちに「もっと頑張らないと」と自分にプレッシャーをかけていました。しかし、通信制に通い、様々な人と出会い、先生方のお話を聞き、無理をせず、少しずつ自分のペースで取り組んでいいんだと、自分の中で凝り固まっていた考えが解けていくのを感じました。

皆さんは順風満帆な人生とはどのようなものだと思いますか？頑張って勉強して、いい大学を出て、安定した職業に就いて結婚して・・・私は嘗てこんなイメージを持っていました。もちろん直向きに努力を重ね幸せを掴み取る、それも素晴らしい生き方だと思います。しかし自分が通信制での日々を過ごした今思うのは、道は一つではないということです。人生の目的地へたどり着くために、その過程に目を向けた時、必ずしも新幹線に乗って最短時間で行く必要はないのです。車でも自転車でも徒歩でも、目的地へ向かう旅が最も豊かで楽しいのはどれなのか、新幹線よりゆっくり歩く旅の方が、発見が多いかもしれません。

人生百年時代と言われる今、私にもまだまだ長いこの先の人生が待っています。焦って身体を壊してしまうのはもったいない、目的地への過程を楽しみながら、自分の幸せを見つけてそれに向けて一歩一歩進んでいく、そんな人生も悪くないと思

えるようになりました。

今の私の夢は走る、ただ走ることです。杖をついての生活から八年、最近ようやく杖がなくても歩けるようになってきました。柔らかな春の日差しの中、心地よい風を一心に受けて走る。そんな日がもうすぐ訪れる。想像するだけでわくわくしてきます。二歳、三歳の子どもが目標にするようなことを二十一歳の私が夢見ています。でも誰かと比べて自分は遅れていると塞ぎ込む必要は無い、何かを始めるのに遅いなんていうことはない、そんなことをここ浜田高校で学ばせていただきました。

卒業式の挙行にあたり、前日から準備を進めてくださった在校生の皆様、ご多忙の中お越しいただいたご来賓の皆様、寛大な心と豊富な知識で卒業まで導いてくださった先生方、そして喜びも悲しみも分かち合って、いつもそばで支えてくださった保護者の皆様、本当に本当にありがとうございました。

最後に、浜田高校の輝かしい発展と、ご臨席いただいている皆様のご健康、並びにご多幸を心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

令和７年３月１日

通信制課程　卒業生代表　田中　大聖

副校長より

～　卒業　～

副校長　池永和江

５月で61歳になる。管理職は今年で卒業。定年延長につき、４月からは教諭に戻って再スタートとなる。通信制に３年間副校長として勤務した。40年近い教員生活の中で、全日制とは仕組みの違うここに勤めさせてもらい、知らないことだらけだったなあとしみじみと思い出している。第四種郵便って何？放送視聴って何？知ったかぶった顔をしながら、内心は「なんのことだろう・・・？」と思うことが多かった。企業見学、地域巡検で回った場所も初めて行くところばかり、見るもの、聞くもの全てが新鮮だった。

若い頃は初めてやる仕事は不安でいっぱいだった。失敗したらどうしよう、人に迷惑をかけたらどうしよう、上手くできないと笑われる。夜中に目を覚まし、自分の失敗に身もだえするほどの恥ずかしさを覚え、眠れなくなったこともある。そんな人間なので教員生活で遅刻をしたことは一度もない。３０分から１時間早く出勤し、様々なことを確認しておかないと不安でしかたがなかった。小心者で中学時代の担任から完璧主義と言われたこともある。ただ長い教員生活の中で、先の見えないプロジェクトをいくつか任され、０から何かを立ち上げて作り上げていくことをやっていくうちに、一歩ずつでも進んでいれば必ず終わりが来ることがわかってきた。あきらめずに進み続けていけば、形ができあがっていくし、頑張っていれば必ず協力者や支援者が見つかることも分かってきた。今でも仕事によっては、不安で心が真っ暗になってしまうこともある。でも初めてのことへの不安はもうない。どちらかというと、初めてのことだからこその発見があり、好奇心が満たされ、わくわくすることも分かってきた。

通信制では、昔の私に似ている完璧主義の生徒に出会うことが多い。ちょっとのつまずきが許せない。上手くいかない事への身もだえするほどの屈辱、悔しさ、恥ずかしさ、誰にも言いたくない思いが募っていく。他人は自分が思うほど、自分のことに関心がない、気にするほどのことじゃない、そんなことが分かるのは残念ながら年をとってからなのだ。若い柔らかな心は傷つきやすく、そしてその傷は結構長いことうずき続ける。不登校を経験した生徒たちを見ながらそんなことを考える。今の時代なら、もしかしたら私も不登校経験者になっていたかもしれない。

ふとしたことで若い頃の記憶が蘇ることがある。視野が狭く、愚かで、思い込みが強く自分のことしか考えていない、でも柔らかな感受性を持っていた学生時代。頼りない学生だった自分も、４０年近く一つの仕事を続け、それなりに成長し、いっぱしの大人になった。もう少しだけ仕事を続け、もう少しだけ成長できればいいなと思う。（特にＩＣＴ）

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業に至るまで紆余曲折、色々あったと思うが、頑張って卒業にたどりついた自分を褒めてください。そしてこの先の自分の成長を信じてください。経験が自分を成長させてくれます。皆さんのこの先の成長と、成長がもたらす豊かな人生を信じています。頑張ってください。

卒業生授賞式

令和７年２月２８日（金）、卒業生授賞式を行いました。当日は授賞式に参加した１５名に向けて、校長先生から高校生活での頑張りを称えると共に今後の活躍への期待を込めた激励の言葉を頂きました。来賓５名の方々ご臨席のもと、厳粛な雰囲気の中で式が行われました。

また、太田・吉寅奨学金ならびに通信制生徒会からの卒業生記念品も贈呈されました。

授賞された賞は以下の通りです。

賞　名　称	
全国高等学校定通教育振興会	修学優秀者賞
全国高等学校通信制教育研究会	会長賞
島根県高等学校定通教育振興会	優秀者賞
亀 山 賞	検定合格の部
	継続就労と学業両立の部
	スポーツ・文化・芸術の部

授　賞　式　の　様　子

Ｐ　Ｔ　Ａ　会　長　の　祝　辞

賞 状 ・ 記 念 品 の 授 与

太田・吉寅奨学金の卒業記念品贈呈

同窓会入会式

２月２８日（金）浜田高校体育館で同窓会入会式が行われました。令和６年度卒業生の皆さんは、浜田高校通信制第１３期同窓生になります。同窓会会長の土田様から記念品の贈呈を受け、同窓生でもある志波校長先生からお祝いの言葉を頂きました。また、全日制、定時制、通信制の同窓生である先生方も同席して和やかな式となりました。浜田高校の同窓生は全国各地で活躍されています。知らない土地でもしかしたら「浜高卒業生」に出会うかもしれませんね。その時は懐かしい思い出話をたくさんしてほしいと思います。

冬季集団研修
ジオラマ制作講習

２月１８日（火）１３：００～１６：００

冬季集団研修のジオラマ制作講習に２名の生徒が参加しました。数学担当の南條達也先生の指導の下、ジオラマキットを用いてジオラマ制作にチャレンジしました。今年の講習では海を表現してみました。浜辺の砂や岩は黒いパウダーを少量ふりかけるだけでより色味がリアルになるなどジオラマ制作の奥の深さを学びました！新年度も夏の全国大会出品を考えています。みなさん、ぜひ、全国大会にチャレンジしてみませんか？５月ごろから制作を開始します。

ちなみに、今年度の冬季集団研修は少年自然の家研修との２本立てを計画していました。少年自然の家研修の方は参加希望が少なく残念ながら中止にしました。新年度はぜひ実現させたいです！

第２回　生徒総会
在校生授賞式

２月１８日（火）１１：００～１１：５０

今年度の生徒会活動を締めくくる第２回生徒総会が開かれました。また、令和７年度の新役員の承認も行われました。１月の課程代表選挙により、新課程代表として益田美風さんが信任されました。この度の承認で益田さんを含めて８名の新役員が誕生しました。新役員のみなさんは、下の一覧の通りです。１年間よろしくお願いします。そして、前課程代表の澤和稚菜さんをはじめ、旧役員のみなさん、１年間お疲れさまでした。

生徒総会の後は、亀山賞の在校生授賞式が行われ、検定合格の部で坂根幸祥さん（情報処理技術者 IT パスポート試験合格）、継続就労と学業両立の部で周藤銀治さん、有田佳乃さん、酒井寛太さん、西田杏奈さん、坂本結菜さん、スポーツ・文化・芸術の部で湟川歩夢さん（全国定通体育大会バドミントン大会出場）、野村心さん（県生活体験発表３位）、島津晴夏さん（全国高校ジオラマコンテスト入賞）、安部航平さん（同上）、浅津遥花さん（同上）、甲斐渓斗さん（スキーインターハイ出場）が表彰されました。おめでとうございます！

令和７年度　生徒会役員紹介
１年間よろしくお願いします！

役　　職	氏　　名
課程代表	益田　美風
議　　長	湟川　歩夢
書　　記	三宅　真央 和田　優斗
会　　計	岩谷　　咲 原田　颯介
会計監査	濱本　　そら 島津　晴夏

前生徒会役員
１年間ありがとうございました！

役　　職	氏　　名
課程代表	澤和　稚菜
議　　長	湟川　歩夢
書　　記	森　　菜央 日前　聡太
会　　計	岩谷　　咲 原田　颯介
会計監査	河﨑　　武 濱本　　そら

進路部だより

卒業生進路状況

Ｒ６年度　卒業生３７名（前期卒業生を含む）

Ｒ７.３.３現在

就職（企業名等）
岩本ダイス工業株式会社【江津】
株式会社第一ホテルマネジメント (温泉リゾート風の国)【江津】
株式会社エービーシーホーム　川口本店【埼玉】
株式会社　寿　香寿庵【神戸】
株式会社 Avenir あおやま会計事務所【広島】
学校法人小川学園認定こども園小石幼稚園【福岡】
自営【浜田】
縁故就職【北海道】
アルバイトの継続・新規
未定

進学（学校名等）
島根県立大学【出雲】
安田女子大学【広島】
広島文化学園短期大学【広島】
松江栄養調理製菓専門学校２名【松江】
東部高等技術校【出雲】
東京ブライダル専門学校　【東京】
履正社国際医療ｽﾎﾟｰﾂ専門学校【大阪】
代々木アニメーション学院【広島】
大原ビジネス公務員専門学校【広島】
広島医療秘書こども専門学校【広島】
未定

進路実現のために

１．卒業後の進路については、できるだけ早い段階から情報収集を始めましょう。

- 特に来年度卒業予定になる皆さんは、７月までには希望を固めておいてください。

２．卒業後の進路も考慮し、受講講座、進路の特別活動は選びましょう。

- 進路関係の特別活動は随時案内するので、意識して参加してください。
- 進学説明会、就職説明会、社会人基礎力講座、企業・学校見学、先輩から学ぶ

３．前期卒業は以下のことを理解した上で選択してください。
また、決定後の変更はできませんので、注意してください。

- 前期卒業が適している場合・・・就職先が既に決まっている、早く卒業したい、など
- 前期卒業が適さない場合　・・・学校を通じて就職・進学したい気持ちがある、など

４．大学受験において推薦を希望する場合は、校内外での活動が重視されます。
できるだけ主体的・協働的な取り組みをしてください。

- □生徒会活動　　□ボランティア活動
- □英語等検定や資格を取得　　□生活体験発表などの各種コンクール

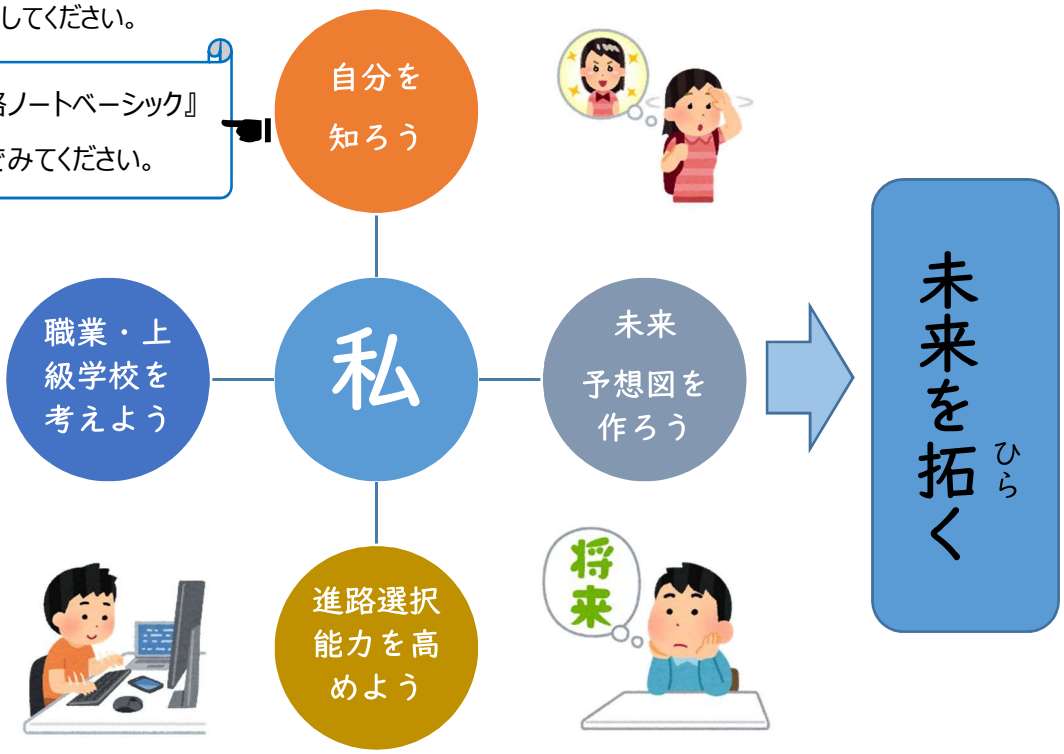
進路学習から、いろいろ発見しよう！

未来は、あなた次第で変わります。何をしたら良いのでしょうか？　具体的に見ていきましょう。

1　進路学習～自分の個性を生かした将来を考える進路学習に取り組みましょう～

自分の「未来を拓く」ための高校生活での活動として次のことが考えられます。それを実現するための高校生活での活動について参考にしてください。

『高校生の進路ノートベーシック』に取り組んでみてください。



2　情報収集～いろいろな情報源、進路の特別活動があります。それぞれを有効に活用しよう。～

次は情報源、進路の特別活動を種類別にまとめたものです。必要なものについて、□にチェックし、参加しよう。

１．自分を知ろう➡適性検査　　＊無料

１□卒業予定生対象

２□在校生対象

２．進学能力を高めよう➡進学模試

１□進研記述（全学年相当対象）

２□進研共通Ｔ（３年生相当対象）

３□全統プレ（３年生相当対象）

３．手続きを知ろう➡説明会

１□進学説明会

２□就職説明会

４．社会人としての基礎能力を高めよう

１□社会人基礎力講座　＊サポステ浜田
　卒業予定生用（第１回～第３回）

２□社会人基礎力講座　＊サポステ浜田
　在校生用（第４回、第５回）

３□着こなし講座　＊講師：洋服の青山

５．企業・学校の研究をしよう

１□企業・学校見学（２回）

２□先輩から学ぶ＊講師：卒業生

３□志望先のオープンキャンパス

４□応募前職場見学

保健だより　３月号

令和７年度を迎えます。新たな１年に向かって、準備を始める時です。
何をするにも心身共に健康であることが大切です。生活習慣を整えて、元気に春を迎えましょう。

令和７年度　健康診断のお知らせ

自分の健康状況を把握しておくことはとても大切なことです。学校で受ける機会を有効に活用してください。
次年度も **２回に分けて実施**します。

６／３(火)、６／１７(火)の２日間ともに全員参加 してください。
２回とも受けることで、その年度の健康診断が完了となります。

下記の日程で受けられるよう、あらかじめ予定に入れておきましょう。

１回目：身体測定

日　時：　**令和７年６月３日（火）３限～**
内　容：　身長、体重、視力、聴力、尿、診察
　　※胸部Ｘ線・心電図（該当者のみ）

２回目：校医検診

日　時：　**令和７年６月１７日（火）午後**
内　容：　眼科、歯科、耳鼻科

・健康診断の費用は**無料**です。
・**特別活動**にカウントされます。
・学校で受けられない場合は、他の機関で受けることになります。
・特に、**卒業予定生**になる人は、進路手続きのために必ず受けておきましょう！
・６月３日の健診の際に何らかの理由により尿検査のみ実施することができない生徒には
　予備日を設けています。

※詳しい時間等は次号で連絡します。

新年度が始まります

4月は学校行事も盛りだくさんです。
学校からの案内をきちんとチェックして、参加してください。

日程	行事	備考
4月 13 日（日）	**在校生受講手続き** （浜田高校定通校舎） **全員必ず出席**	ルームによって登校時刻が違います。案内をきちんと確認して自分のルームの時刻に登校してください。 ※教科書・学習書給与申請の書類提出 該当者は申請の書類を提出しないと教科書代の支払いが必要になります。 ※新年度諸会費の納入 諸会費を納入しないと新年度の活動ができません。
4月 15 日（火） 16 日（水）	新入生1日入学	令和 7 年度入学生のみの登校です。 **在校生は登校する必要はありません。**
4月 20 日（日）	前期入学式	
4月 27 日（日）	**前期全校集会** （サブアリーナ・ 浜田高校定通校舎） **全員必ず出席**	新年度最初の大切な会です。 教科書、学習書、レポートは全校集会後に渡します。 前期時間割（亀山通信）を配布します。
4月 30 日（水）	プレスクーリング（浜田）	令和 7 年度入学生向けに「スクーリング計画立案」「レポートの提出の仕方」「レポートへの取り組み方」などを説明する会です。 在校生も参加してスクーリング計画を立てたり、レポートに取り組むことができます。 （特別活動カウントあり）
5 月 1 日（木）	プレスクーリング（大田） （あすてらす） プレスクーリング（益田） （益田市民学習センター）	
5月 11 日（日）	本校スクーリング1回目 協力校スクーリング1回目	新年度最初の本校・協力校(大田高校・益田高校)スクーリングです。
5月 13 日（火）	火曜スクーリング1回目	新年度最初の火曜スクーリングです。（本校のみ）

※詳細は学校からの案内を確認してください。
※4月 13 日（日）の受講手続き時に、該当者は「教科書・学習書給与申請」の書類を提出してください。（提出がない場合、教科書代の支払いが必要になります。）**在職証明書などの証明書類が必要**になりますので早めに準備をしておいてください。